

自治公民館の備品購入を助成 (コミュニティ助成事業)

250万円追加

内容

コミュニティの健全な発展および地域の活性化に寄与するため、(一財)自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業であるコミュニティ助成事業を活用し、地域コミュニティ活動に必要な備品・集会施設等の整備について、同センターの助成決定が見込まれるため、補正する。

質疑

問 これまでに採択された事業の一覧はあるのか。

答 過去の事例を表にしている。

問 より多くの団体がこの事業を活用できるように、作成している一覧表を、申請の参考資料として提供していただきたい。

答 採択事例の一覧表を申請手続きの参考にした供いたしたい。



◀(一財)自治総合センター

本市での事業採択状況(令和2年度)

事業実施団体	事業内容
上津浦地区振興会(有明地区)	やぐら購入
茂木根自治振興会(本渡地区)	公民館建設
※今回採択予定 上区自治会(本渡地区)	備品購入(机、電灯、家電等)



▲夏祭りで使用する組み立て式やぐらを購入した上津浦地区振興会

マイナンバーカード発行件数の増加等に伴う 事務負担金を増額

982万1千円増額

内容

マイナンバーカードの交付状況は昨年度の約2.7倍で推移している。発行件数増加等に伴い、地方公共団体情報システム機構への負担金が当初の予定額を上回ったため、補正する。

質疑

問 マイナンバーカードの交付が増加した理由は。

答 社会保障、税、国民年金機構との連携をはじめ、9月からマイナンバー事業が開始されたことによるもののほか、本庁と各支所に申請補助タブレットを設置し、申請手続きが5分程度で完了するように整備を行った。

このタブレットの利用状況は、6月から11月までの月平均が155件となっている。



▲タブレットを使用した申請の様子

■QRコードで制度の詳細が確認できます。

有害鳥獣資源化施設 建築工事費等を増額

1,134万9千円増額

捕獲したイノシシの資源化処理施設は
新和町宮地浦地区に完成予定

内容

施設整備に当初簡易な農業用倉庫を予定していたが、実施設計を行ったところ排水路工事、動力配線設備工事および給排水設備工事の増額が必要となったため、補正する。

質疑

問 当初の予定どおりに工事は進むのか。

答 令和3年4月からの稼働を予定していたが、今回の補正後の対応となるため、若干当初予定より遅れると考えている。



新規および既存組織の取組面積増加 に伴い多面的機能支払交付金を増額

1,210万9千円増額

農地の多面的機能の維持・増進を図る
ため地域で共同作業を行う組織を支援

内容

地域の共同作業による地域資源の適切な保全管理活動等を行う組織へ、取組面積に応じた交付金を交付する多面的機能支払交付金について、新規組織および既存組織の取組面積が増加したため、補正する。

質疑

問 新規組織が増えた理由と取組状況について。

答 直近の2年間で16組織、181haが増加した。取組としては、主に本市において中山間地域等直接支払事業に取り組み協定集落に対し、本事業の意向調査を行い、取組意向のある集落へ、個別に説明会を開催。地域段階での協議に参加しながら、事業計画の作成支援を行うなどの取組を重点的に行った結果、増加につながった。

要望 遊休農地、耕作放棄地の取組状況は大変評価できるものであり、今後も引き続き推進するよう要望。



TOPIC 02

令和2年度一般会計補正予算 (第11号) ふるさと応援寄附金 事業経費などを承認

ふるさと応援寄附金業務委託料、
返礼品および送料などを増額

内容

ふるさと応援寄附金の増加に伴う経費や令和2年7月豪雨の災害復旧費、総額15億7,784万8千円の増額補正の専決処分を承認した。

質疑

問 歳入には9億円の寄附金が増額されているが、このような大きな補正が必要となった理由は何か。

答 当初予算では、昨年度の寄附額に1億円上乗せをした7億円を寄附額と想定し、経費を計上していたが、10月末時点で寄附金が想定額の7億円となった。年末までの傾向を考慮し、寄附総額を16億円と見込み、増額した。

寄附金額の増額理由は、生産者の皆さんや委託事業者における魅力的な返礼品の掲載など、広報や情報発信の工夫、募集サイトの新規開設などが考えられる。他にも、生産者応援企画の実施など新型コロナウイルス感染症による社会的背景も影響したと分析している。

